



2019年度 県公立高 入試志願倍率

高校名	学科・コース	定員	一般選抜		倍率
			定員	志願者	
山形東	普通	160	160	51	0.32
	探究	80	80	203	2.54
山形南	普通	200	200	260	1.30
	理数	40	32	42	1.31
山形西	普通	200	200	213	1.07
山形北	普通	160	160	220	1.38
	音楽	40	19	7	0.37
山形工	機械	40	30	18	0.60
	電子機械	40	28	37	1.32
	電気電子	40	29	16	0.55
	情報技術	40	28	44	1.57
	建築	40	28	47	1.68
	土木化学	40	28	27	0.96
山形中央	普通	160	160	195	1.22
	体育	80	20	22	1.10
天童	総合	160	120	122	1.02
山辺	食物	40	28	26	0.93
	福祉	40	28	29	1.04
	看護	40	28	31	1.11
村山産業	農業経済	40	28	27	0.96
	農業環境	40	30	15	0.50
	機械	40	28	18	0.64
	電子情報	40	31	11	0.35
	流通ビジネス	40	28	17	0.61
東桜学館	普通	200	103	73	0.71
北村山	総合	120	95	54	0.57

県教育委員会は26日、2019年度の公立高校一般入試の願書受け付けを締め切った。推薦入試などの合格内定者を除いた全日制の志願倍率は0.94（前年比0.04ポイント減）となり、過去10年で最も低かった。県教育委員会によると、全日制は募集定員計6207人に対し5849人が出願した。前年度から加茂水産と遊佐の2校で県外からの志願受け入れを可能としたが、加茂水産に県外から初めて4人が志願した。公立校の一般入試は3月10日に学力検査、翌11日に適性検査があり、同17日に合格発表が行われる。

東根市立神町中学校3年の植松和哉くんは、「倍率を切った高校もありますが、点数をとらなければ入れません。気を緩めず、一生懸命勉強して受験当日を迎えたいです。」と山形県の受験生を代表して、受験への意気込みを語ってくれた。

「賽(さい)は投げられた」 「賽」とは「博打(ばくち)で使用するサイコロ」

のことです。「勝敗を決めるためのサイコロは、もう既に振られている」という意味から、「もはや、進むしかない」「運命に任せてやるしかない」とい意味で使われるようになりました。この言葉は、古代ローマ時代のユリウス・カエサル(シーザー)が敵対するポンペウスを倒すため、軍隊を率いてルビコン川を渡る時に言ったとされています。当時、ローマに入るルビコン川を軍隊を率いて渡る行為は禁止されていました。そのため「もう後戻りはできない」という覚悟とともに口にした言葉が「賽は投げられた」です。受験生諸君、賽は投げられました。

